

## 日本語教室学習者のスピーチ

① 鐘 賀 礼 (ショウ ガレイ) えふえいち日本語教室	私の学生たちから何を学んだか・・・・	1
② De Leon Lorini Byron Josue (デレオン ロリーニ バイロン ホスエ) 日本語クラスみらい	日本語を勉強した体験・・・・	2
③ Lola Seraphin (ローラ セラファン) にほんごきょうしつ Global Friendship	時と天気、言葉の話・・・・	3
④ 姜 朋 波 (キョウ ホウハ) 小さな国際交流の会	一期一会・・・・	4
⑤ Nguyen Thi Phuong (グエン ティ フォン) ようこそ日本語教室	へんだな！日本の会社マナー・・・・	5
⑥ Feng Hai Tao (フォン ハイタオ) 高取日本語教室	福岡と私・・・・	6

## 日本語学校学生のスピーチ

① Tamang Sabin (タマン サビン) GAG 日本語学院	外国で知り合った友達・・・・	7
② 黄 微 (ファン ウエイ) 学校法人 麻生塾	幸せの秘訣・・・・	8
③ 魏 寧 (ギ ネイ) 福岡国際学院	私の模範・・・・	9
④ Pramathana Candraditya (プラマタナ チャンドラディティヤ) 愛和外語学院	日本料理の面白さ・・・・	10

※出場者一覧は、原則パンフレットの記載に併せています。

また、原稿は、原則出場者の皆さんからご提出いただいたものをそのまま掲載しています。

氏名	鐘 賀 礼 (ショウ ガレイ)
テーマ	私の学生たちから何を学んだか
教室名	えふえいち日本語教室

皆さん、こんにちは、鍾賀礼と申します。よろしくお願ひいたします。

私は今年の1月からボランティア活動に参加して、外国人に向け日本語を教え、また、日本人のおばあちゃんたちに中国語を教えています。この仕事は僕にとってはけっこう面白いです。実は、外国人と交流する時間をすごく楽しんでます。その一方、みんなは僕に新たな考え方を啓発してくれました。

● **先ずは：誰でも僕の先生になれます。**

中国の孔子は「三人行，必有我師焉。」という文を提示しました。この文は「三人の中で、必ず一人が自分の先生になれます」という意味です。僕の日本語クラスでは、学生は高校生、画家、ソフトウェアエンジニア、会社社長，合わせて4人です。

ソフトウェアエンジニアは仕事で韓国から日本へ来て、日本語の日常会話が練習したいそうです。また、私は今年の十一月に韓国語能力試験を受ける準備をしていました。そして、彼と個人レッスンを行った時、けっこう面白い場面が出ました。彼は僕に日本語の文法に関することを聞いて、僕は彼に韓国の練習問題を聞きます。例えば「先生、お久しぶりです。」「선생님 오랜만입니다。」です。

● **次は：勉強することはいつでも遅くはありません。**

「生きて行く限り学び続ける，学問は死ぬまで続けるもので、これで終わりということはない。」この諺は多分皆さんがご存知だと思います。小学生の頃から周りの先生達からずっとこの文を繰り返して聞いていますが、僕は日本のおばあちゃん達に会って初めて、この文の意味が本当に分かりました。今年、平均年齢は70歳超えおばあちゃんたちは僕の中国語レッスンに入って、中国語の勉強を始めました。中国語を学ぶ過程においては、一番難しいところはピンインだと思います。年取ったおばあちゃんたちは顔の筋肉が硬くなりますし、記憶力も大分弱くなりましたが、毎日ちゃんとビデオを見ながら録音を聞いて、一生懸命に練習しています。いろんな困難にあっても、諦めずに頑張っています。「もう無理!」「大丈夫、できる!」言語を学ぶことに対して、とても熱心です。いつも良い質問を返してくれて、質問は中国語母語話者にとって、気づかないようなところですよ。僕も勉強します。

● **最後は：外国語はただの工具でしかありません。**

私は日本語と中国語を勉強している時、面白いことを発見しました。それは、「外国語を上手に話せる人は、人と交流する時、自分の文法ミスがあるかどうか気になっていません。」ということですよ。それで、僕の結論は、人と交流する時、自分自身のことばかり注目しないで、相手の反応を見て互いに交流できるよう集中します。そうすれば、人と人のコミュニケーションがうまくいきます。もし外国語会話能力の進歩が欲しかったら、言語を使うとき、文法ミスを恐れず、ちゃんと自信を持ちましょう。言語を教えるうち、**私は私の学生たちから何を学びましたか。**必要なことは一つしかありません。それは、今の世界において、外国語は特別な技術ではなくて、ただ、工具である。この工具は僕たちに従う道具です。」。

以上です。ご清聴ありがとうございました。

氏名	De Leon Lorini Byron Josue (デレオン ロリーニ バイロン ホスエ)
テーマ	日本語を勉強した体験
教室名	日本語クラスみらい

全く違う新しい言語を学び、不可能だと思っていたスキルを学び、遠い国との繋がりを持つことは面白い。チャレンジすることが好きな私は日本語の読み方と書き方を学びたいと思いました。ひらがな、カタカナ、漢字の組合せはとても複雑ですが見た目も美しく、再現できるようにしたかったので。日本語が読めれば、世界のどこでも、いつでも日本語を練習することができます。

2015 年に来日した私は、一言も日本語を話せませんでした。しかし私は言語の中で最も難しいと思われる日本語を上級レベルまで何年かかってもいいから学ぶことを決意しました。これは私の旅の中で最も重要な瞬間でした。私にとって日本語を学ぶことは願いではなく、決断でした。それは結婚を決心するようなものでもありました。

そのため、私は何よりも漢字を勉強することにしました。日本語の授業を受ける余裕なかったのでまずは読み方学ぼうと考えました。私は日本語を学ぶために戦略を立てることにしました。それは新聞を読むこと、ドラマや映画を見ることです。新聞は日本語版と英語版を読み比べていきました。

数年後なんとか N2 レベルに到達しましたが私の本当のレベルは N5 当たりです。今でも日本人の友達と日本語で気軽に話すのは大変です。去年、小説を読み始める時が来たと思いました。まず初めに英語版と日本語版が人気のハリーポッターを読んでみました。子供向けの簡単な本だと思っていたのですが難しかったです。子供たちは私よりずっと賢いことに気づきました。道はかなり長いです。しかし幸いことに、日本語のボランティアグループなど、案内してくれる味方がいます。

日本語のようなタフなスキルを学ぶことで、自分自身について多くのことを学びました。自分の心がとても狭いことに気づき、自分の考えを再考するのを知りました。再開するのに遅すぎることは決してないということ。知識は才能ではなく、努力に基づく奇跡です。献身的に取り組む限り、どんなに複雑であっても、私達は何かを学ぼうことを諦めてはいけません。

ご清聴ありがとうございました。

氏名	Lola Seraphin (ローラ セラファン)
テーマ	時と天気、言葉の話
教室名	にほんごきょうしつ Global Friendship

こんにちは！

今日は、私が日本語に興味を持ったきっかけの言葉についてお話したいと思います。

「時と天気は一緒です」 こう言ったら おどろきますか？

フランス語で、「時間」と「天気」という言葉は同じです。

発音も、文字も、全く一緒です。でも、意味は時間と天気ですから、全然ちがいます。

ですが、私たちフランス人は、どちらの意味なのか、自然にわかります。

フランスの有名な小説に『À la recherche du temps perdu』というのがあります。

日本語のタイトルは『失われた時を求めて』。「時」と翻訳されています。

もし、これが『失われた天気を求めて』となっていたら どうだったでしょうか。

主人公が マドレーヌを食べて 蘇るのは、子どもの頃の思い出ではなく、地球温暖化によるディストピアのことになっていたでしょう。

先日、このスピーチの原稿を書いているとき、ゾンビに会いました。

でも、ディストピアの感じはしませんでした。それは、ハロウィンだったからです。

ハロウィンでは、福岡でも いろいろな仮面をかぶっている人が目立ちました。

今度は、この「仮面」という言葉について考えてみます。

みなさんは、「鉄仮面」を知っていますか？「鉄仮面」は、フランスで最も有名な仮面です。

17世紀に バスティューユ牢獄に収監されていた 実在の囚人が着けていました。

顔を誰にも見せなかったので、正体不明の彼のことを想像して、いろいろな話がたくさん生まれました。

この「鉄仮面」は、王政という絶対主義の社会を表しています。

ところが、三島由紀夫の小説「仮面の告白」では、仮面を着けていなくても、

気持ちを閉じ込めておく という意味で 「仮面」という言葉が使われているのです。

このことは、私にとって、衝撃でした。

つまり、同じ言葉でも、場合によっては、全然ちがう世界を作り出すことができます。

料理にたとえると、言葉は、文章の材料です。

作り方や、混ぜた材料によって、たくさんの違ったごちそうを作り出すことができます。

最近、私はカフェに行きました。 ミルクティーを飲みたかった。

「すみません、**クルミティー**をお願いします！」

私は、注文を言い間違えてしまいました。

でも、そのおかげで、新しい飲み物を作りだし、周りに笑いももたらしました。

言葉の “かけはし” です。“橋” ですから、いろんな所にかけられます。

言葉は、日常生活の中に、新しい世界を作ります。

それは、政治家や有名人だけではなく、私たち みんなが話す 言葉自体の力で 新しい世界を作り、広げることができるのです。大切にしなければなりません。

忘れないでください。

言葉は **宝** です。

氏名	姜 朋 波 (キョウ ホウハ)
テーマ	一期一会
教室名	小さな国際交流の会

みなさん、こんにちは。

みなさんは「一期一会」という言葉をご存知ですか。この言葉は、私が大好きな言葉です。

「一期一会」とは、この出会いは一生に一度の出会いかもしれないから、その出会いを大切にしようという意味です。

私は 2015 年からずっと福岡に住んでいます。福岡でできた友達やお世話になった先生、一度だけ出会った人までも、その人を思う気持ちを大切にしています。その時間、その場所、そこで起きたことは良いことだろうが、悪いことだろうが、その全てが私の心の記憶になり、人生の一部になり、私の喜びや悲しみになったからです。

私は日本語を学んで、大学で勉強したいと思って日本へきました。ある日本語学校に一年九ヶ月ほど通っていました。学校生活はあんまり楽しいものではありませんでした。それは勉強より規則や制度を大事にされ、「出席率は何よりも大事だぞ！」とたえず言われていたからです。それに、クラスの誰もがイライラしていて、あちこちですぐ喧嘩になりました。

そんな状態の時に出会ったのが自信满满で生意気だった私を変えてくださった日本語学校の先生でした。その先生との面談で「最近、勉強の態度が悪いことを指摘され、友達とうまくいってないよだからもっと友達を大切にすること」など、色々私を諭してくださいました。その先生は台湾に20年ほど住んでいて、中国語がぺらぺらでした。それにとっても優しく、親切だったのでその先生の言葉を素直に聞くことができました。面談の後で先生の言葉をよくよく考え、自分の悪いところを見直しました。留学生活は勉強だけではなく、できるだけ多くの人と出会い、その人々を大切にすることや楽しい思い出を作ることなど考え直しました。

この「一期一会」という言葉は “自分の好きな日本語” を発表する時に、クラスメートが発表した言葉です。私はこの言葉をはじめで知りました。すぐに言葉の意味を調べてみると、自分の悪いところを見直し反省したときの気持ちと同じに思えました。それ以降、積極的に学校や地域のイベントにも参加し、出会った人に「一期一会」の気持ちで接してきました。

そして、一期一会という言葉で一番印象に残ったのは茶道の体験イベントでした。対面に座っている私に静かにお茶をたててくださった、そのお茶をいただいた時、ああ、これが「一期一会」だという気持ちが自然と湧いてきました。この時、これは一生に一度の時間と出会いだと思え、その時の交流や考えを大切にすべきだと心から思いました。人との出会いは私にとってかけがえのない宝物です。どんな人からも学ぶことがあります。今まで見たことがない成長した自分と出会え、この新たな自分が、今後の人生を変えられるかもしれません。

「一期一会」という、この言葉との出会いに感謝します。

御清聴、ありがとうございました。

氏名	Nguyen Thi Phuong (グエン ティ フォン)
テーマ	ヘンだな！日本の会社マナー
教室名	ようこそ日本語教室

こんにちは、私はベトナムから来ましたフォンと申します。  
 今日は日本の会社でのマナーについて発表させていただきます。  
 日本の会社で働いて驚いたことが3つあります。

まず、スーツです。ベトナムでは、スーツを着るとき、上下が揃ってなくてもかまいませんが、日本では上下揃いのスーツ、靴もきちんとしたものでなくてはなりません。

そのため、「青山」や「青木」などの店にショッピングに行きました。でも、ここでは、安くても二万円以上はします。

そんなに高いのは、絶対には買いたくありません。

結局、いろいろ探して、50%引きのセールのスーツを見つけて買いました。

日本で社会人になるには、とてもお金がかかるって**ヘンですねー**。

2つ目は例えば、挨拶です。日本では、会社では知らない人にも挨拶しなければなりません。しかも、笑顔で。

嬉しくないのに、笑って挨拶するなんて**ヘンですねー**。

でも、それが日本のマナーです。挨拶は、自分の事を相手に知ってもらうという意味があります。また、笑顔は、親しみを持っているというメッセージです。

3つ目は、敬語の問題です。覚えるのは難しく、時間がかかります。でも、日本では上司だけではなく、同僚との会話でも敬語を使う場合があります。例えば、相談とか、頼み事、メールの宛先に「様」をつける時などです。使い分けしなければならないのは、**ヘンですねー**。

それでも、毎日の仕事の中で、先輩に丁寧に教えてもらい、だんだん敬語を自然に使えるようになりました。

日本の会社では、一人一人が責任をもって効率的に働くので、製品の品質も高く、世界的に評価されています。

ベトナムでは品物を買った後、それを開けるのにハサミが必要です。しかし、日本では、ほとんどハサミは必要ありません。

なぜなら、コンビニのおにぎりさえ、開け方に工夫がされているからです。今では、私は日本製品を買くと、必ず開け口があるはずだと探すのが習慣になりました。これも、いい製品を作ろうという日本の会社の努力の成果だと思います。

そして、その会社の社風をつくり上げるのが、会社マナーです。私は、少しでも早く日本の会社マナーを身に付け、頑張って働き、社会人として大きく成長していきたいと思っています。

ご清聴、ありがとうございました。

氏名	Feng Hai Tao (フォン ハイタオ)
テーマ	福岡と私
教室名	高取日本語教室

みなさん、こんにちは。私はフォン ハイタオと申します。パンダの故郷、中国の成都から来ました。今年の九月に九州大学を卒業し、来年の四月に日本の医療企業に就職の予定です。

四年前、私はマカオ大学の学生でした。その時は、日本のことは、まったく知りませんでした。もともとは、ポーランドに交換留学する予定でしたが、直前になって、日本の九州大学に自分の研究内容にぴったりの条件があったので、急きょ留学先を変更しました。この時に初めて福岡を訪れ、私は日本で研究を続けたいと思いました。その後、正式に九州大学の学生になってから日本で働くことを決意しました。このように運命的な出会いをした福岡を私は第二の故郷と呼んでいます。

この第二の故郷と私の本当の故郷は、驚くほどよく似ています。皆さん「麻婆豆腐、回鍋肉、青椒肉絲」は食べたことがありますか？日本でもよく知られているこれらの料理は、もともとは四川料理なのです。成都では一番美味しい四川料理を食べることができます。

そして、自然は美しく、物価も安く、名物のグルメがたくさんあります。北京や上海と比較して、人々はゆったりと生活をしています。成都是住みやすい街として中国国内で何度も選ばれています。福岡も同じではないですか？東京や大阪の生活に比べて、福岡は長い歴史を感じさせる、ゆったりした生活を街の隅々に見ることができます。福岡は住みやすい街として有名で、博多ラーメン、明太子、もつ鍋などの名物料理は国内外の観光客を魅了しています。そして何より物価が安い！ですから、福岡は本当に離れたくない街です。

もちろん、福岡の人情も大きな魅力だと思います。福岡で出会った人たちも親切でした。ここでは、私の恩師である片山佳樹先生についてお話したいと思います。片山先生は、日本の腫瘍ドラッグデリバリーの分野で非常に有名です。先生は学生の積極性を引き出す指導をしてくれます。四年前、私はこの研究室に交換留学をし、先生の人格に感動したので、進んで博士課程に応募しました。三年間の研究を経て、私は研究分野で大きな進歩を遂げただけでなく、日本の医療会社への就職も決まりました。私がこれから就職する会社は、臨床検査に重点を置いており、新型コロナの検査キットを全国に提供しています。第二の故郷で勉強したことをもとに、入社後は、より便利で安価な検査キットを開発し、すべての患者さんがより良い治療を受けられるようにしたいと思っています。日本の医療業界にささやかな貢献ができれば幸いです。 第二の故郷福岡大好き！

ご清聴ありがとうございました。

氏名	Tamang Sabin (タマン サビン)
テーマ	外国で知り合った友達
学校名	GAG 日本語学院

私は2019年4月11日に日本へ来ました。日本で生活を始める前から、友だちをたくさん作りたい。でも、私は内気な性格で、友達ができるか不安でした。実際に日本へ来てみると、やっぱり日本語もほとんどできないので、学校とアルバイトの往復で、友達を作る時間なんてありませんでした。その上私のクラスは私以外全員ベトナム人、休憩の時はベトナム語。まるで日本ではなくベトナムに来たみたいでした。

みなさんはクラスやグループの中で、自分以外の人がある国の人で、話が全く通じなかったらどうしますか。私だったらどンドン話をするという人もいるかもしれませんね。

日本語にも自信がない、性格も内気な私がベトナムの学生しかいないクラスで友達を作るなんて・・・授業の会話練習では、「サビンさん、今週の日曜日どこかへ行きませんか?」「いいですね・・・」と会話をしても、本当に行くわけがないので・・・私は自分から話ができず、だんだんさびしくなり、休憩の時はいつも、教室の中で一人でゲームをしたり、ネパールの友達がいるクラスへ遊びに行ったりして、クラスも変わりたいと思うようになりました。

ある日、休憩時間にある学生が「サビンさんもこのゲームをしますか?これおもしろいですね。」と話してきました。あれ?これはベトナム語じゃない。日本語だ。それに、彼は私に話しているの?私は少し混乱してしまいましたが、その反面うれしくなりました。私もできるだけの日本語を使って「はい。おもしろいですね。」と話しました。

それから休憩時間になると、いつも彼は私のところへ来て話してくれました。短くて簡単な日本語ですが、私もがんばって彼の話の返事をしていっしょにゲームを楽しむようになりました。そして、私たちの様子を見たほかの学生も私たちのところへ集まり始めて、いつの間にか私のまわりにはクラスの学生がたくさんいて、いっしょに笑っていました。

このことがきっかけで私はクラスのみんと近くなったと感じました。ネパールの友達がいるクラスへ遊びに行くことを少なくして、私も勇気を出してみんなに話しかけてみました。幸せなことに、クラスのみんなどはとても明るくて、すぐに仲良くなりました。

今でも、教室に入ると、休憩の時はいつものようにベトナム語。でも、前のように遠い世界とは感じません。「サビン、今度いっしょにパーティーしようよ!」「いいね!」・・・こんな会話もして、いっしょに食事もしました。授業では、日本、ベトナム、それから私の国の文化や習慣のことをみんな話して話さずことができ、とても勉強になります。日本の食べ物「ちまき」、ベトナムの「バインチュン」、ネパールの「チツチャル」はとてもよく似ているなど思いました。そう思うと、日本もベトナムも私の国からは遠い国ですが、とても近くに感じられます。

ゲームという小さなことから、国が違う人と友情が始まるなんて思っていませんでした。

国や文化・習慣が違うからといって消極的にならないで、勇気を出してきっかけをつくれれば、お互いのことを理解できるということ、お互いの国の文化や習慣を知ると、国と国はこんなに近くに感じることができるということをこのクラスの仲間から学びました。これは、私の人生の中で忘れられないとても大切なものです。

私は来年から専門学校に入学します。生活の中で、今よりももっとたくさんの経験をしたいと思います。日本の学生と交流する機会も増えると期待しています。今度は、勇気を出して私からきっかけをつかって、日本人の友達をたくさんつくり、もっと日本を近くに感じたいと思います。

氏名	黄 微 (ファン ウエイ)
テーマ	幸せの秘訣
学校名	学校法人 麻生塾

今年新型コロナウイルスの影響で、本当に大変な一年でした。昨年の10月に来日した私も、学校が休校、オンライン授業になり、2月中旬から6月中旬まで約4か月、自粛生活を送りました。一人暮らしなので人と話す機会もあまりなく、外出もままならず、いつしか気持ちの起伏もなくなり、何だか暗いトンネルの中にいるようでした。そんなある日、家事を終えた私は、リビングのテーブルの上に桜の花びらを見つけました。この花びらは一体どうして、どうやって私の前に現れてくれたのでしょうか。この瞬間、私はその小さい花びらから力をもらいました。それは、まるで空から舞い降りた天使が、「大丈夫だよ」と微笑んでくれているようでした。

私は中国で保険関係の仕事をしていたのですが、以前から心に興味があったので、心理学を学びたいと思い、日本に留学しました。学校の入学式で、校長先生が「あなたがこうして留学できたのは誰のお陰ですか。世界には学びたくても学べない人がたくさんいます。あなたがこうして留学できたことに感謝して、この機会を大切にしてください」とおっしゃいました。また、担任の先生からは「感謝心と志があるからこそ人は頑張れるのだ」ということも教えていただきました。そして、思い出しました。私が中国を教えている日本人の男性は、勤務時間が長いにもかかわらず、文句一つ言いません。どうして?と聞くと、仕事には感謝こそすれ、文句などないとのことでした。以前、沖縄に旅行した時、毎朝、海岸を掃除している96歳のおばあさんがいらっしゃいました。それは、海に感謝しているからとのことでした。感謝する気持ちがあるからこそ、学生は一生懸命頑張ることができます。感謝する気持ちがあるからこそ、いい仕事もできるし、心身ともに健康で長生きができるのでしょうか。

それに気が付いた私は、これまでいかにたくさんの人に助けられてきたか、改めて感謝するようになりました。私をここまで大きく育ててくれた両親、いつも楽しい時を過ごせる友人、コロナの自粛生活の中、オンライン授業を準備して下さった学校の皆さん、社会のために働いて下さった多くの人々、それに人々の心を癒してくれる青い空や美しい花や木、そして、それに気づかせてくれたコロナウイルスにも。

感謝の気持ちを持ってから、私の生活には大きな変化が起こりました。知らない人にも会釈をするようになりました。街にある草花を鑑賞するようになりました。いらいらが減って、笑顔が増えました。私は幸せの秘訣を見つけたのかもしれませんがね。今の私は、留学することを決心した去年の私に感謝しています。未来の私も、今日、スピーチコンテストに出場した私に感謝するかもしれません。

ご清聴、ありがとうございました。

氏名	魏寧(ギネイ)
テーマ	私の模範
学校名	福岡国際学院

みなさん、こんにちは。ギネイと申します。

日本人はとても長寿で日本の年配の方が多いと世界中で知られています。感動するのは、日本のお年寄りはとても元気で自分の力を入れてこの社会に貢献しているということです。みなさんは日本人の年配の方を見ると、どう思いますか。私は初めて日本人の働いている年配の方を見た時、少し驚きました。「え？日本は年配の人を働かせますか」と疑問に思いました。みなさんの国ではお年寄りの方はどうですか。日本と同じですか。今から、私は日本で2つの体験したことを紹介します。

初めて日本へ旅行した時、羽田空港から出て、バスに乗るところ、運転手のおじいさんは乗客の荷物を取ってバスのトランクに固定しました。私と友達のスーツケースはとても重かったので、「自分の荷物を運んでもいいですよ」と言いました。でも、おじいさんは「大丈夫ですよ」と言いながら、スーツケースを運んでくださいました。そのとき私は「本当に大丈夫ですか。毎日毎日多くの乗客のスーツケースを運んでいるのに、まだ力がありますか。そして、そのように働いている年配の方たちは自分でしたいですか」と思いました。

もう一つ体験したことは今年の冬、毎朝自転車で通学していた時、家の近くで、ある白髪のおじいさんは寒くても、交差点で住民の安全のために案内してくれました。中国でもそんなふう案内する人もいますが、比較的若い人が多いです。この白髪のおじいさんのような高齢者はほとんど見たことがありません。初めて見た時、私は「え！すごい。そんな年なのに元気だなあ！！」と思いました。毎朝、私は敬意と感謝の気持ちを込めて、おじいさんにあいさつしました。ある朝、家を出たばかりの時、おじいさんはたまたま近くにいました。自転車に乗っている私を見て、おじいさんがすぐ先の交差点まで小走りしていきました。車がないことを確認した後、おじいさんは旗を振って、通行できることを知らせました。おじいさんの服に「子供を守る」と書いてありました。しかも、おじいさんは子供だけじゃなくて、留学生としての私、さらに社会の皆も守っていました。

この二人のおじいさんを見て、私は「あっ！」と気づきました。「なるほど、国は年配の方を働かせるんじゃないで、おじいさんたち自分でしたいというわけだ。」とわかりました。

おじいさんは楽しんで仕事をしていたからです。中国では高齢者の占める割合はまだ日本より低いので、働いている年配の方は比較的少ないです。日本に来て以来、いつも年配の方が若い人のように働いたり、ボランティアしたりすることが見えます。とても感動します。

みなさん、おじいさんとおばあさんたちがマクドナルドで店員として働いたり、タクシーを運転したり、冬にも関わらず、交差点で案内することを見ると、感動しませんか。年配の方でも積極的に自分の力を入れて社会に貢献しています。私たちはまだまだ若くていろいろなことができます。おじいさんとおばあさんのように、自信と勇気を持って、やりがいのあることをして、社会に自分の少しでも力を入れるのはいいのではないのでしょうか。

これで私のスピーチを終わります。

ご清聴ありがとうございました。

氏名	Pramathana Candraditya (プラマタナ チャンドラディティヤ)
テーマ	日本料理の面白さ
学校名	愛和外語学院

みなさん、こんにちは！

私はインドネシアから日本に来て、もう1年半がたちました。日本に来た次の日、日本料理のてんぷらを食べに行きました。その時に、食べたてんぷらは今まで食べたことがないおいしきでびっくりしました。その後、お寿司やラーメンなど色々食べてみましたが、どれも美味しくて私は日本料理が大好きになりました。日本料理はどうしてこんなにおいしいのだろうか、と知りたくていろいろ調べてみました。調べてみたら、日本料理の面白い発見がありました。それが次の3つです。

まず、一つ目は日本料理の量です。つまり、ボリュームです。日本人は食べ物を少しずつ食べる習慣があるようです。日本料理は量が少ないです。お皿いっぱい盛り付けて出されることはほとんどありません。少量ですが、日本人はゆっくり食事を楽しみます。日本人は食事に関して非常に健全な見方をしています。「腹八分」と言われていて、「お腹が80%になった時に食事を止めることをおすすめします」という意味です。「腹八分」は健康的な食事をすることで、体重の維持にも役に立ちます。

二つ目は食材です。伝統的な日本食のバランスと多様性は重要です。米以外に、魚と野菜は日本食の大切な食材です。日本料理は新鮮な海鮮と野菜を使うことが多いです。日本の健康的な食品は、鍋で蒸し、焼く、炒める、またはすぐに揚げるだけのプロセスであることをよく知っています。また、ソースの味も楽しめます。

三つ目は、日本料理の調味料です。インドネシア料理と日本料理の基本的な違いは料理に使われる調味料です。インドネシア料理の味と香りは強めです。多くのスパイスを使用することで強い味と香りが生まれます。日本は自然の風味を大切にしています。日本料理のうまみは日本料理の味をよくします。

その上、すべて日本料理は順番に入れなければならない日本の特別な調味料があります。「さーしーすーせーそー」と言われています。「さ」は砂糖、「し」は塩、「す」はお酢、「せ」は醤油、「そ」は味噌です。醤油は昔「せうゆ」と言われていたから「せ」なのです。醤油や味噌などはうまみ成分がたっぷりです。料理が美味しくなります。日本料理の美味しい秘密は調味料にあるかもしれません。

栄養バランスが取れた日本料理は体に良い影響を与えます。色や盛り付け方が美しく目で見ても楽しむこともできます。せっかく日本に住んでいるので、色々な日本料理店へ食べに行きたいです。日本料理をもっと楽しみたいと思います。

みなさんもぜひ日本料理を食べてみてください。

ご清聴ありがとうございました。

## スピーチのようす



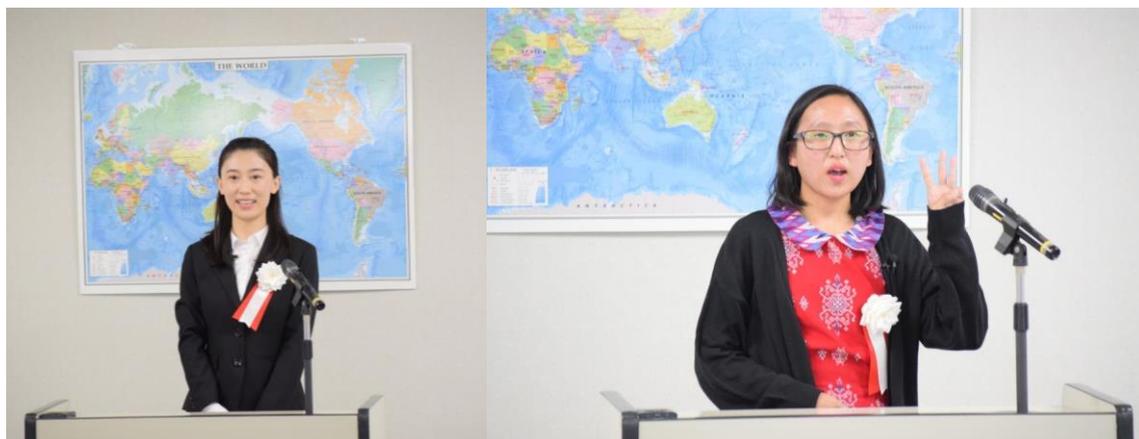
(左から) 鐘 賀 礼さん、De Leon Lorini Byron Josue さん、Lola Seraphin さん



(左から) 姜 朋 波さん、Nguyen Thi Phuong さん、Feng Hai Tao さん



(左から) Tamang Sabin さん、黄 薇さん



(左から) 魏 寧さん、Pramathana Candraditya さん